

粉塵防止剤

DUSTOPPER®

ダストッパー

技術資料

目次

1. はじめに
2. 特徴
3. 施工機材
4. 施工手順
5. 注意事項

1. はじめに

ダストッパーのご使用に当たっては、本技術資料をお読みのうえ、適切にご使用下さい。

2. 特徴

ダストッパーは車両走行部、非走行部双方の粉塵抑制に対応するポリマーを配合した粉塵抑制剤です。ダストッパーは、粒子を拘束、凝集し、土壌を強くして粉塵を抑制します。また、雨水で再溶解せず、道路の雨水による土砂流出を防止します。

3. 施工機材

施工面積が大きい場合は、散水車の使用、施工面積が小さい場合は、希釈用のタンクを用意し、エンジンポンプや水中ポンプでの散布を推奨します。

※エンジンポンプは口径が2インチ程度の物をご使用下さい。

※ホースは内径が15mm以上の針金入りの折れにくいゴムホースをお使い下さい。

※散布の際は、散布ノズルまたは市販の園芸用シャワーヘッドをご使用下さい。



4. 施工手順



- ① 水の入った散水車に所定量のダストツッパを投入し攪拌します。（※その際、散水車に所定量の1/3程度水が張った状態でダストツッパを投入、最後に残り2/3の水を入れると攪拌されやすいです。）



- ② 散布開始（※散布路面が極度に乾燥している場合は、事前に散水して適度な湿気を保った状態で散布して下さい。）



- ③ 散布（※散布は2度撒き（往復）して下さい。）



- ④ 散布完了（※散布後24時間は、通行、走行しないで下さい。また、使用後の散水車は速やかに洗浄して下さい。）

～施工に当たって～

- ・路面の遊離した砂利は、フィルムバリアを剥がすおそれがあるため、散布前に取り除くか締め固めて下さい。ローラー等で転圧することを推奨致します。
- ・散水車に所定量の1/3程度水が張った状態でダストツッパを投入し、最後に残りの2/3の水を加えます。（水→ダストツッパ→水の順）混ざりが不十分な場合は、5分程度投入口から棒などで攪拌を行って下さい。
- ・施工場所が極度に乾燥している場合は、ダストツッパが土中に浸透しにくいいため、予め施工場所に散水をして適度な湿気を保って下さい。

5. 注意事項

- 施工の際は、防護マスク、防護ゴーグル、防護手袋をご着用下さい。
 - 施工前に空きスペースで希釈液の浸透状況をテストして下さい。
 - 13℃以上の気温で、施工当日、翌日が悪天候では無い日に施工して下さい。施工場所に水溜まりや、ぬかるんでいる箇所がある際は延期して下さい。
 - 施工後は、乾燥するまで（約24時間）施工場所の通行や走行はしないで下さい。
 - 施工の際には、ダストッパが河川や排水溝に流れ込まないようにご注意ください。また、余った希釈液を排水溝などに流さないようにして下さい。
 - 散布中にポンプや散布ノズルが詰まった際は、水で洗浄する等のメンテナンスを行って下さい。
 - 散布に使用した機材等は、乾燥する前に速やかに洗浄して下さい。
 - 直射日光を避け、換気の良い室内（5℃から43℃の間）で保管して下さい。
 - 開封後は、お早めにご使用下さい。
- ※その他詳細は、カタログ、安全データシート（SDS）をご参照下さい。